



波立薬師の宵祭

干潮に當る明日曜 好晴なら各濱共に雑沓か

事變下に於て健康増進に一途 二十九日午後七時半から市内 湯本無蓋橋上に開催、最近第 一線から歸つた本縣赤十字救 護班長大森醫學士の戦地談を

平驛の貨物成績

六月は三千九百九十一圓 七月は千六、七百圓を

平驛に於ける今七月の貨物動 態は昨年の當月が六月三十一 日の洪水被害で隣接地の四倉 久の濱間に鐵道路線への土砂 崩壊があつたのを初め半月 餘に亘る茨城縣土浦方面の浸 水などで車の動きが思はず 増加(發七二九三三〇)を

委員の割振り

市會(たノ)

今廿九日の平市會は昨紙所報 の如く主な案件とする参事會 員及び各委員の満期改選振り 當てを各派交渉會に於て圓滿 に解決したのであるが各派内 に於ける割振りに若干ならず 不平を生じた爲め殊に當惑の 二、三派がこれが懸念に内議 を要し午前十時の開會が十一 時に及ぶも開かれず就中委員 の間に派内の豫選を審議せし 見せることになりはせぬかと 觀られてゐた

平壯年團

七月の例会

今夜湯本無蓋橋で 平市會議員大嶺庫氏の主旨を 以て同市最初の組織である平 壯年團では今七月の例会を今

支那單語

鉛筆はペン、鉛筆のことは鋼筆でカンピー、萬年筆を自來筆と書いてソーライナイ、日本紙をヤンチー、西洋紙をヤンチー、書翰袋は信紙でシンチ、封筒はシンフオル、

戰地の便り

二浦 富美男

一段と心を固め

御活躍下さる様

家庭群の献金

石城郡産馬組合では来る八月三日午前十時から區長會を開き踴躍終了の整理協議をなす

石城産馬區長會

石城郡産馬組合では来る八月三日午前十時から區長會を開き踴躍終了の整理協議をなす

鶴岡部隊長 戰歿勇十弔問

昨二十八日午後警務東東隊で來平の鶴岡部隊長は同一時市會議事堂に市内の戰歿勇士金成龜太郎中尉外二十四名の遺族を集めて弔問を述べて同市泊の翌二十九日朝平驛出發で相馬郡原の町に向ひ去る二十七日から同町を中心に行はれてゐる將校演習の視察をなす

矢吹少佐の町葬

石城郡湯本町の矢吹出身矢吹文彌軍醫少佐戦死の町葬は来る八月五日午後一時同町小學校に於て執行される

銃器披露の訓練

小名濱青年校生と同町軍友會合同の訓練は昨二十七日午前

何よりの珍品です

緒方 勝男

興業株の拂込み

東北興業會社の第三回株拂込み期日は来る八月二十五日と決定したが右取扱ひは同月十四日から開始する漢通り地方

滿支の視察から

(30) 本縣囑託 關内正一氏

景山：紫金城の眞裏にあり 北京市内を一望の内に收む 色々の傳説が秘められてゐると云ふ、今は遊園地となつて居る。天橋路：天壇の歸りに此處に立寄る、北京全市の細民階級の娛樂場であり、生活必需品の賣出し場所である、俗に云ふ泥棒

市と云ふのは此處である。下層社會の生活に適つた大マーケットである、大連の露天市場とはその規模に於て種類に於て雲泥の差である。大陸民衆の生活相がマザ〜と展開されてゐる一種羨いと云ふ感がある。孔子廟とラマ寺見學：孔子

廟は北京城内の東北部にある、大成殿に至る、中庭には泰柏の老樹鬱蒼として茂り、その間に大きな大理石の石碑が林立してゐる、此石碑は清朝時代、進士に及第したものがその御禮に一基づゝ奉納したものと云ふ。ラマ寺：孔子廟の近くにあり、古びた十数棟の偉大な建築物が奥へ奥へとつゞいて建つて居る。建物一つ一つに番人が居て、オーと呼ぶと扉を持つて出て來る

奥へ行くに従つて薄氣味悪く感ずる、旅行者は一人では行かぬ方がよいと思ふ。奥の院に陰陽佛がある酒代を與へたら覆の布をとつて拜ませて呉れた、境内に乞食の群が居て餘りいゝ氣持はしない。寺の傍の別棟に現在ラマ僧が三百人程ゐると云ふ。

廿八日午後五時頃同地内火防用のバックに轉落溺死してゐるを發見平驛の視察を受くる事務家諸兄に ムツソリーニベン を獎む

國産品に斯んなよゝんがあるのは喜ばしいことです。 錆びなき書きよゝん、耐ちよゝん、三拍子揃つたペンです。

石城郡内郷村の宮澤居住警炭坑夫鈴木登四男信義(三)は昨

弊店國勢調査ノ爲メ今二十九日ヨリ 三十一日マデ三日間臨時休業仕候 四丁目 ツルヤ洋品店

内科、小兒科 大森醫院 醫學士 大森 勇 平市南町 電二五八番

行く、此正陽樓と云ふのは 三百年も連綿として成吉思汗料理をやつてゐる店と云ふ、實に古びた幾棟かの奥の野天に片足をふんばり出し長い竹の棒で爐火を起し青天井を眺めながら羊の肉のつけ焼を食ふのである實に美味である、たらふく御馳走になつた。それから東京なら新橋、柳橋とも云ふべき大官連の出入する處にも案内され、支那情緒を満喫することが出來た。

行くと云ふのは此處である。三百年も連綿として成吉思汗料理をやつてゐる店と云ふ、實に古びた幾棟かの奥の野天に片足をふんばり出し長い竹の棒で爐火を起し青天井を眺めながら羊の肉のつけ焼を食ふのである實に美味である、たらふく御馳走になつた。それから東京なら新橋、柳橋とも云ふべき大官連の出入する處にも案内され、支那情緒を満喫することが出來た。

行くと云ふのは此處である。三百年も連綿として成吉思汗料理をやつてゐる店と云ふ、實に古びた幾棟かの奥の野天に片足をふんばり出し長い竹の棒で爐火を起し青天井を眺めながら羊の肉のつけ焼を食ふのである實に美味である、たらふく御馳走になつた。それから東京なら新橋、柳橋とも云ふべき大官連の出入する處にも案内され、支那情緒を満喫することが出來た。

行くと云ふのは此處である。三百年も連綿として成吉思汗料理をやつてゐる店と云ふ、實に古びた幾棟かの奥の野天に片足をふんばり出し長い竹の棒で爐火を起し青天井を眺めながら羊の肉のつけ焼を食ふのである實に美味である、たらふく御馳走になつた。それから東京なら新橋、柳橋とも云ふべき大官連の出入する處にも案内され、支那情緒を満喫することが出來た。

行くと云ふのは此處である。三百年も連綿として成吉思汗料理をやつてゐる店と云ふ、實に古びた幾棟かの奥の野天に片足をふんばり出し長い竹の棒で爐火を起し青天井を眺めながら羊の肉のつけ焼を食ふのである實に美味である、たらふく御馳走になつた。それから東京なら新橋、柳橋とも云ふべき大官連の出入する處にも案内され、支那情緒を満喫することが出來た。

農業

物資配給は 需要団体で

農林水産業用資材
に農林省の対策案
綿製品、地下足袋、農業用
薬剤などを新たに加へ既に
統制中の物資(現在二十種
類に上つてゐる)とともに
これを農林省の専管として
割當て配給をする、

(2)農林省内の資材配給事
制の整備擴充をはかるため
人員を増加する、

(3)農林漁業用資材の製造
上の指導監督に關する適當
なる施設を講ずる、

(4)地方廳にも専任の職員
を置くこと、

(5)農林、水産業用資材の
配給は現在のやうに單なる
配給要綱では關取引が公然
と行はれるからこれが確保
勵行のため法令によるやう
にする、

(6)資材の配給は原則とし
て需要者団体に行はせると
す、

『物資別の割當』
なほ各物資別の資材割當に
ついては次のやうに方針を決
定し配給を強化圓滑ならしめ
ることになつた、

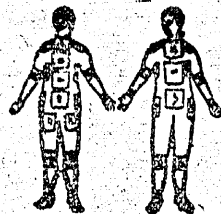
▼農機具、
(1)農機具の製作資材全部
を取まゝとして商工省より引
受けの上製作者に配給する
この爲めには全國的にまた
は地域別に強力な農機具製
造者団体を新設し規格並び
に價格の統一を圖ること従
來は製品の種類になやんで
來た上、規格もまちまちで
あつたので農家が購入上非
常に不便であつた。

一般印刷物も
御引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

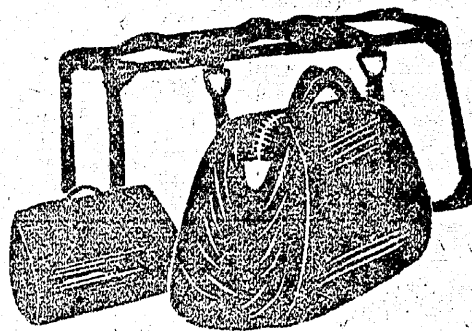


平市
五丁目角
山野邊藥局

生公堂
平市
電話五九二番

債券、公債
両替、金融
多田井質店
平市大工町 電話五九二番

類品洋とンバカ



眞砂屋 (平市前驛、新道通り)
電話五六五

産科婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄
入院隨意
病室完備
木村病院
平市新川町九一 電話一六四番

平市
三丁目裏川岸通
明雲堂眼科醫院
入院應需(自炊の便あり)
電話六六九番

涼味そる 夏物洋品愈々進出

スマートなカンカン帽子
可愛らしいお子襟帽子
婦人・子供清涼着
その他色々陳列

つるや 平市 電話一四四

診療科目

- 一、齒科一般
保存科、補綴科、組織架工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
- 一、口腔外科
- 一、レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野慈次
日大醫學士 藤谷伍郎
主任 佐藤重義
平市田町(松月堂向) 電話五〇九番

帝國海上保險株式會社

安田系統の帝國海上
平代理店 關内正一
事務取扱者 阿部助次郎
平市三丁目 電話一六番

根本産婦人科醫院

平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
(入院隨時)



店商屋釜

九九・九電

和洋銅鐵、金物問屋

内科、小兒科 平市田町 電話五一三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

電話五九二番

に變りました

レストロミサロ

平市銀座街